

# 〈1〉 中露関係とウクライナ問題——潜在的対立要因としてのウクライナ

法政大学 法学部 教授 熊倉 潤

1. はじめに
2. 中国の対ロシア外交方針の整理 (2022年2月～2023年3月)
3. 中国の対ロシア関係の強化 (2023年3月～2024年5月)
4. 中国の和平提案の新展開と対ロシア関係の両立 (2024年5月～2024年末)
5. 中露関係の維持と中国の立場の両立 (2025年初～2025年5月)
6. おわりに

## 1. はじめに

中露関係は今年(2025年)に入ってから、表面上は友好一色である。5月上旬には、習近平が国家主席として11回目となるロシア訪問を果たした。今回の訪露は、第二次世界大戦の「戦勝80周年」を祝う節目にあわせたものであり、昨年から予定され、盛んに宣伝されていた。ロシアの戦勝記念日である5月9日に行われた軍事パレードでは、習近平とプーチンは隣り合わせに座って隊列を見守り、勝利の栄光の時間を共にした。習近平のロシア訪問中、5月8日には中露首脳会談が行われ、共同声明——正

式には「中国人民抗日戦争およびソ連の『大祖国戦争』勝利ならびに国連創設80周年を記念する、中露新時代の包括的な戦略的協力パートナーシップのさらなる深化に関する中華人民共和国とロシア連邦の共同声明」——が署名された。

中露関係はアメリカを中心とする西側諸国のウオッチャーからは、「便宜的な関係」のようなものと論じられてきた。そこには「離婚なき」といった結婚の比喩がつくこともあった<sup>1</sup>。たしかに中露関係は、対米、対西側関係という中露共通の課題を前に共闘する関係にあり、中露の永遠の友好というプロパガンダ的な表現を額面通りに受け取ることはできない。中露間には、実際にはさまざまな懸案事項があり、本稿において指摘するように、ウクライナ問題での立場の相違、「すれ違い」があることも事実である。「中露友好」といってもその内実は複雑であり、中露は「すれ違い」を乗り越えて「中露友好」を実現してきたと見た方がよい。

今回の習近平の訪露、また2023年から現在にかけての中国側のロシアに対する姿勢を見ていると、中露は「便宜的な関係」というレベルを超えているように見受けられる点もある。中国側の姿勢とは、後述する「5つの堅持」をはじめとする中国側の対露方針に見てとれる。「ウクライナ危機」(中露は危機

<sup>1</sup>たとえば、廣瀬陽子「離婚なき便宜的結婚——ロシアの勢力圏を侵害する中国」SYNODOS、2018年8月24日。<<https://synodos.jp/opinion/info/21949/>>

と呼んでいる)の展開過程で、中国側は対ロシア関係を調整し、プーチンとともに歩む方針を固めている。理論上は、無謀な戦争を始めたロシアを見限って、中国が西側に接近する道もありえたが、実際にはそうならず、習近平はプーチンの横に座って軍事パレードを眺める方を選んだのである。

今回 2025 年 5 月の習近平の訪露を見ても明らかのように、習近平は行かなくてもよいロシアに自ら行き、プーチンを立て、友好関係をアピールし続けている。「便宜的な関係」の相手であれば、そこまでする必要はないことを習近平はしている。習近平がプーチンとの関係でやや前のめりになる背景には、個人的に相性が良い、あるいはプーチンの志向へのシンパシーあるいはリスペクトがあるといった指導者の属性のほか、国際政治上、いっそう重要なこととして、対米関係においてプーチン率いるロシアが存在してくれていることの重要性がある。ロシアとの安定的関係がなければ、中国は西太平洋で安心してアメリカに向き合うことはできない。そのことは中ソ対立の歴史的経緯（中国では歴史的教訓といわれる）もあって、習近平ら文革世代は直感的によく理解している。トランプ政権の誕生後、アメリカがロシアと接触を増やし、米露接近もささやかれるなか、習近平政権としてはロシアを自国の側に引き留める必要をいっそう強く認識していると言えよう。

このような観点から、本稿では、中国の対ロシア外交を中国側の公式発表に基づいて分析したうえで、ウクライナ問題をめぐる中露の立場の相違について論じたい。中露関係の研究は主にロシア研究の専門家によって蓄積されてきたところがあり、中国研究の側からのアプローチは少ない。本稿では、習近平政権の対ロシア方針、あるいはプーチンへの向き合い方についての分析に軸足を置き、ウクライナ問題をめぐる中国の立場について論じる。

## 2. 中国の対ロシア外交方針の整理 (2022 年 2 月～2023 年 3 月)

ロシアのウクライナ侵攻以降、習近平政権はロシアにどのように向き合ってきたのか。習近平のロシア訪問中、2025 年 5 月 8 日に出された中露共同声明は、「ウクライナ危機」（当然ながらウクライナ侵攻という表現は使われていない）について、以下のよう述べている。

ウクライナ危機を安定的かつ持続的に解決するため、双方は、「国連憲章」の原則を十分かつ完全に遵守することを前提に、危機の根源を取り除き、安全保障の不可分性の原則を守り、すべての国の正当な安全保障上の利益と懸念に配慮しなければならないと認識する<sup>2</sup>。

この折衷的な文章のうち、中国側の要望で盛り込まれたと考えられるのが、「『国連憲章』の原則を十分かつ完全に遵守することを前提に…」という前提条件の部分である。この前提条件は、ウクライナ侵攻以来、中国がロシアに対し繰り返し主張してきたことである。ここでは、2022 年に立ち返り、中国がウクライナ問題についてロシアに何を主張し、この問題でのロシアに対する方針をいかに整理し、変化させていったかを見ていきたい。

ロシアのウクライナ侵攻開始の翌日(2022 年 2 月 25 日)、習近平は早速プーチンと電話会談をしている。そこでは中国の立場として、「ロシアがウクライナと交渉を通じて問題を解決することを支持する」、「各国の主権、領土の一体性を尊重し、国連憲章を遵守する」といったことが述べられたという<sup>3</sup>。ここでいう「各国の主権、領土の一体性」とは、ウクライナも含まれている。中国としては西側と一緒にロシアを非難したくないが、主権、領土の一体性の尊重は中国外交の重要な建前であり、台湾問題、チベット問題等を抱える中国としては、その原則を曲げるわけにもいかない。そこには逡巡の跡が見られ、高

<sup>2</sup> 中華人民共和国（以下、中国）中央人民政府「中華人民共和国和俄羅斯聯邦在紀念中国人民抗日戦争、蘇聯偉大衛國戦争勝利和聯合國成立 80 周年之際關於進一步深化中俄新時代全面戰略協作伙伴關係的聯合声明」2025 年 5 月 9 日。<[https://www.gov.cn/yaowen/liebiao/202505/content\\_7023051.htm](https://www.gov.cn/yaowen/liebiao/202505/content_7023051.htm)>

<sup>3</sup> 中国外交部「習近平同俄羅斯總統普京通電話」2022 年 2 月 25 日。<[https://www.mfa.gov.cn/web/wjdt\\_674879/gjldrh\\_674881/202202/t20220225\\_10645684.shtml](https://www.mfa.gov.cn/web/wjdt_674879/gjldrh_674881/202202/t20220225_10645684.shtml)>

原明生氏の言い方を借りれば、中国はロシアの側につくか、あるいは思い切ってロシアと距離を置くか、「十字路に立たされた」<sup>4</sup>。

中国はロシアのウクライナ侵攻により微妙な立場に立たされ、ロシアを全面支持するところまで行かなかった。このことは、侵攻開始から半年後に開かれた習近平とプーチンの首脳会談（2022年9月15日）において、プーチンが「中国側の疑問や懸念を理解している<sup>5</sup>」と発言したことからも確認される。もっとも、中国側の報道を見ると、習近平の発言は以下のようなものであり、中露間の亀裂は覆い隠されている。「世界、時代、歴史の変化を前に、中国はロシア側と協力して、大国の役割を体現し、指導的役割を果たし、混乱する世界に安定性を注入する用意がある」。「中国は、互いの核心的利益に関わる問題でロシア側を強力に支援し、貿易、農業、コネクティビティなどの分野で実務的な協力を深める用意がある」。「双方は、上海協力機構、アジア相互協力信頼醸成措置会議、BRICSなどの多国間枠組みにおける調整と協力を強化し、すべての関係者の連帯と相互信頼の拡大を促進し、実務協力を拡大し、地域の安全利益を守り、途上国・新興市場国の共通利益を保護すべきである」。「台湾は中国の一部であり、中国側は『台湾独立』分離主義勢力と外部の干渉に断固として反対する。いかなる国も台湾問題の裁判官になる権利はない<sup>6</sup>」。習近平はこのように述べ、台湾問題でプーチンが「一つの中国」の原則を堅持していることを称賛した。なお、ウクライナ問題に対する言及はないが、中国側はこの時点でウクライナ問題について意見交換したとは公表していなかった。中国側は当時、かくも慎重であり、ロシアとどのように接するか、大いなる迷いのなかにあった。

このあと、中国は翌2023年のはじめまでに対ロシア外交の方針を調整し、ロシアとの関係を切らずに、主権、領土的一体性の尊重の原則を両立させる道として、ロシアに和平交渉ないし対話交渉をはたらきかける方向に歩むようになる。中国は、ウクライナ和平の仲介者を自称すれば、主権、領土的一体性の尊重の原則を放棄せずに、ロシアとの関係を続けることができ、あわよくば平和の使者としての良いイメージを国際社会に振りまくことができよう。

その歩みの過程は、2022年12月30日の中露首脳会談（このときはオンラインであった）と2023年2月22日のプーチンと王毅の会見後に出された公式発表から透けて見える。2022年12月30日の中露首脳オンライン会談では、中国側は「ロシアが外交交渉による解決を拒否したことはない」と表明していることに中国側は注目している<sup>7</sup>とし、外交交渉の方途が議論されたことを公開した。もっとも、この段階では、ロシア側は外交交渉を拒否していないという程度に過ぎなかったが、2023年2月に王毅がロシアを訪問し、同月22日にプーチンと会見した後の公式発表では、いま一歩進んだ表現に変化する。この会見で王毅は、「ロシア側が対話交渉で問題解決を望むと再度述べたことを称賛する<sup>8</sup>」と述べたとされており、ロシア側は対話交渉を望んでいるということになった。こうした中国側の一種の「外交努力」の結果、あみ出されたのが、「ウクライナ危機の政治的解決に関する中国の立場」と題された中国の立場表明（2023年2月24日）である。

「ウクライナ危機の政治的解決に関する中国の立場」（2023年2月24日）の要点（要約は筆者による）<sup>9</sup>

<sup>4</sup> 高原明生「国間研戦略コメント（2022-03） 中国が立たされた十字路 ---- ロシアのウクライナ侵攻と中国外交」日本国際問題研究所ホームページ、2022年3月11日。<[https://www.jiia.or.jp/strategic\\_comment/2022-03.html](https://www.jiia.or.jp/strategic_comment/2022-03.html)>

<sup>5</sup> 原文は、「Понимаем ваши вопросы и ваши озабоченности на этот счет и в ходе сегодняшней встречи, конечно, подробно разьясим и нашу позицию по этому вопросу, хотя мы и раньше об этом говорили」（ИТАР - ТАС С, “Путин: РФ понимает озабоченности и высоко ценит сбалансированную позицию КНР по Украине,” 15.09.2022. <<https://tass.ru/politika/15761641>>）

<sup>6</sup> 中国外交部「習近平会見俄羅斯總統普京」2022年9月15日。<[https://www.mfa.gov.cn/web/wjdt\\_674879/gjldrhd\\_674881/202209/t20220915\\_10766653.shtml](https://www.mfa.gov.cn/web/wjdt_674879/gjldrhd_674881/202209/t20220915_10766653.shtml)>

<sup>7</sup> 原文は、「中方注意到俄方表示從未拒絕以外交談判方式解決衝突」（中国外交部「習近平同俄羅斯總統普京舉行視頻會晤」2022年12月30日。<[https://www.mfa.gov.cn/web/wjdt\\_674879/gjldrhd\\_674881/202212/t20221230\\_10999032.shtml](https://www.mfa.gov.cn/web/wjdt_674879/gjldrhd_674881/202212/t20221230_10999032.shtml)>）

<sup>8</sup> 原文は、「賞賛俄方重申愿通過對話談判解決問題」（中国外交部「俄羅斯總統普京會見王毅」2023年2月22日。<[https://www.mfa.gov.cn/web/wjdt\\_674879/gjldrhd\\_674881/202302/t20230222\\_11029753.shtml](https://www.mfa.gov.cn/web/wjdt_674879/gjldrhd_674881/202302/t20230222_11029753.shtml)>）

<sup>9</sup> 中国外交部「關於政治解決烏克蘭危機的中國立場」2023年2月24日。<[https://www.mfa.gov.cn/zyxw/202302/t20230224\\_11030707.shtml](https://www.mfa.gov.cn/zyxw/202302/t20230224_11030707.shtml)>